

人間工学的見地から考えた環境とマイクロスコープの有効的な利用法  
Ergonomic Clinical Setting and Useful application of microscopes  
(Setting Logic and Performance Logic from pd concept)

磯崎 裕騎

いそざき 歯科

抄録

手術用顕微鏡が臨床歯科に応用されて20年あまりが経過した。この間、数多くのメーカーがマイクロスコープを発売してきたがそのルーツは医科用手術用顕微鏡にある。そのためオペ室での取り回しや汎用性を優先しているため必ずしも臨床歯科に適合したものであるとは言えない。

Dr. ダリル ビーチが提唱しているpd診療と言われる診療スタイルから考えると、人間工学的に完全に適合したマイクロスコープは現在存在しない。そこで日常歯科診療の優先事項を検討し、歯科用マイクロスコープのあり方やセッティングと呼ばれる診療環境、歯科医師らの行動から検討したパフォーマンスロジックを人間工学的見地から整理したい。また歯科臨床には奥行きのある口腔を対象とするためにデンタルミラーを使用する必要性があり、その特殊性がある技術について紹介したい。

略歴

- 1987年福岡県立九州歯科大学卒業
  - 1991年HPI研究所研修終了
  - 1992年新大阪愛歯科イソザキ診療所開設
  - 2000年いそざき歯科開設
  - 2007年日本顕微鏡歯科学会会員
  - 2011年日本顕微鏡歯科学会認定医
- Performance Logic Society 副会長  
NPO 法人 pdp 理事